



第 6 回アジア未来会議 プレカンファランス プログラム

主 催	渥美国際交流財団関口グローバル研究会 [SGRA]
共 催	中国文化大学 [Chinese Culture University] (台湾)
後 援	公益財団法人日本台湾交流協会
助 成	公益財団法人高橋産業経済研究財団
協 力	台湾大学日本研究センター (台湾) 台中科技大学日本研究センター (台湾)
日 時 (台湾時間)	2021 年 8 月 26 日 (木) ※下記は台湾時間 (日本時間は 11:00~17:30 です) 10:00~11:00 開幕式、基調講演 11:00~12:00 シンポジウム 13:00~16:20 AFC 優秀論文、台湾特別優秀論文賞授与式及び論文発表 16:20~16:30 閉幕式
開催方式	オンライン (Zoom ウェビナー) で開催
使用言語	中国語・英語 (中英、中日同時通訳あり)
概 要	<p style="text-align: center;">開会式</p> <p style="text-align: center;">《10:00~10:10》 (日本時間 11:00~11:10)</p> <p>開会の辞：明石 康 アジア未来会議議長 司 会：林 孟蓉 アジア未来会議台湾実行委員会委員長</p> <p style="text-align: center;">第 1 部 基調講演</p> <p style="text-align: center;">《10:10~11:00》 (日本時間 11:10~12:00)</p> <p>「アジアはどこに向かうのか? : 疾病管理が政治に巻き込まれた時」 講 師：吳 玉山 中央研究院院士 (国際関係、政治学) ホスト：徐 興慶 中国文化大学学長</p> <p style="text-align: center;">第 2 部 シンポジウム</p> <p style="text-align: center;">《11:00~12:00》 (日本時間 12:00~13:00)</p> <p>「ポストコロナ時代における国際関係-台湾から見るアジア」 モデレーター：徐 興慶 中国文化大学学長</p>



パネリスト： 松田 康博（日本）東京大学東洋文化研究所教授
 李 明 政治大学国際事務学院兼任教授
 Kevin Villanueva 范 楷涵（フィリピン）
 フィリピン大学准教授／中興大学特任副研究員
 徐 遵慈 中華経済研究院台湾東南アジア国家協会研究センター主任
 吳 玉山 中央研究院院士

第3部 AFC 優秀論文、台湾特別優秀論文賞授与式及び論文発表
 《13:00～16:20》（日本時間 14:00～17:20）

13:00～13:10	AFC#6A 優秀論文、台湾特別優秀論文賞授与式 司 会：デール・ソイヤ フリーランスリサーチャー／渥美財団奨学生		
13:10～14:40	AFC BP セッション 1	AFC BP セッション 2	AFC BP セッション 3
14:50～16:20	AFC BP セッション 4	AFC BP セッション 5	台湾特別優秀論文セッション

閉会式

《16:20～16:30》（日本時間 17:20～17:30）

閉会の辞：今西 淳子 アジア未来会議実行委員長
 第6回アジア未来会議（2022年8月、台北）へのお誘い
 司 会：陳 姿菁 第6回アジア未来会議台湾実行委員 / 渥美財団奨学生

参加申し込み、大会連絡窓口

第1部 基調講演 第2部 シンポジウム

基調講演とシンポジウムに参加ご希望の方は、下記リンクから
 Zoom Webinar の参加登録をしてください。

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_7Kz66tJdTn2_57Pn5GUeQ

QR コードからお申し込みできます。



参加申し込み

第3部 AFC 優秀論文、台湾特別優秀論文発表

事前の参加登録は不要です。

当日、12:30（台湾時間）以後、以下のリンクより直接ご参加ください。

<https://us02web.zoom.us/j/84126398635?pwd=bFVldjVUTRCWwcxN3A5WnhzMUN1>

QR コードからお申し込みできます。



大会連絡窓口

AFC 事務局 afc@aisf.or.jp

当日テクニカルサポートが必要な場合にもご連絡ください。

アンケート

当日は Zoom Webinar 終了後にアンケート調査を行います。

頂いたご意見は今後の企画、運営活動の参考にさせていただきます。

第1部 基調講演

「アジアはどこに向かうのか？：疾病管理が政治に巻き込まれた時」

講師： 吳 玉山 中央研究院院士／中央研究院政治学研究所特任研究員（国際関係、政治学）

講演要旨：

COVID-19 は、20 世紀初頭のスペイン風邪以来、世界が遭遇した最も深刻な流行性疾病である。これを管理することは、あらゆる国家の利益であり、間違いなく「すべての者が安全になるまで誰も安全ではない」（No one is safe until everyone is safe）ということで、国際的な協力行動を刺激するはずだったと思われる。しかし、2020 年初頭のパンデミック以来、我々は疾病の起源を巡る責任のなすり合いに加え、「ワクチン・ナショナリズム」（vaccine nationalism）や「ワクチン外交」（vaccine diplomacy）などの一連の国際紛争を経験した。紛争によって協力関係が抑制される現象は、パンデミック前から存在した国際システムの中の新冷戦と関係している。新冷戦は国際間における大国の権力の移り変わり（power transition）と経済危機に起因する右派ポピュリズム（right-wing populism）の台頭に根源がある。新冷戦の勢いは既に根深く、COVID-19 のような共通の危機があっても、意見の相違を解決して協力をもたらすことができずに、紛争の渦に吸収されてしまっている。このような状況で、アジアがどこに向かうのか、ということを考えなければならないだろう。

《講師紹介》

吳 玉山 Yu-Shan Wu

中央研究院院士／中央研究院政治学研究所特任研究員

アメリカ・カリフォルニア大学バークレー校政治学博士

2016 年中央研究院第 31 回院士選出。現在は台湾大学政治学科共同招聘教授、中山大学名誉講座教授、政治大学講座教授。受賞歴：アメリカ政治学会最優秀博士論文賞（1992）、国科会傑出研究賞（1996-2002）、教育部學術獎（2002）、傑出特約研究員獎（2008）など多数。研究領域：社会主義国家の政治経済の変容、民主化と立憲政治、兩岸関係と国際関係理論等。主要著作：《優勢政黨與民主：亞洲經驗的省思》（合編）巨流（2017）、《半總統制下の権力三角：總統、國會、內閣》（共著）五南圖書（2017）、《中國再起：歷史與國關的對話》（編）國立臺灣大學出版中心（2018）等。



「ポストコロナ時代における国際関係-台湾から見るアジア」

《モデレーター・パネリストプロフィール》

モデレーター：



徐 興慶 Shing-Ching Shyu

中国文化大学学長

日本・九州大学日本歴史研究所文学博士

日本・関西大学文化交渉学（論文）博士

台湾大学日本語文系教授兼系主任 / 所長、台湾大学日本研究センター主任、国際日本文化研究センター、京都大学人文科学研究所、北京清華大学人文学院客座教授等を歴任。専門分野は日本近世および近代中日交流史、思想史、文化史等。主な著作：《東アジアの覚醒-近代日中知識人の自他認識-》、《近代中日思想交流史の研究》、《環太平洋から日本研究を考える》(共同著作)等。

パネリスト：



松田 康博（日本）Yasuhiro Matsuda

東京大学東洋文化研究所教授

日本・慶應義塾大学法学博士

東京大学東洋文化研究所准教授を経て2011年より教授。専門分野はアジア政治外交史、東アジア国際政治研究、中台関係論等。主な著作：《台湾一黨獨裁體制的建立》、《台日關係史 1945-2020》(共同著作)、〈蔡英文政權の誕生及兩岸關係の轉變：《失去的機會》或《新常態的開端》〉《當代日本與東亞研究》第1卷第4號、〈如何解讀安倍政府的安全保障政策：超越“右傾化論”與“軍國主義復活論”〉《當代日本與東亞研究》第4卷第5號等。

パネリスト：



李明 Ming Lee

政治大学国際事務学院兼任教授

アメリカ・バージニア大学国際関係学博士

政治大学国際関係研究センター副研究員、政治大学外交学系副教授、教授、教授兼外交学系主任、教授兼国際事務学院院长等を歴任。前吉林大学、日本立命館大学、西安外国語大学客員教授。現在は政治大学国際事務学院兼任教授、中美文化経済協会秘書長。専門分野は国際関係、東北アジア安全研究、民間外交、兩岸関係、国際紛争と危機管理等。近年の著作：主編《普欽執政下の俄羅斯》、主編《國際關係》、李明《兩韓競合與強權政治》、李明、邱稔壤共同主編《地緣政治經濟之爭奪戰》。



パネリスト：



Kevin Villanueva 范 楷涵（フィリピン）

フィリピン大学／中興大学特任研究員

イギリス・リーズ大学国際政治研究所博士

国際関係論と政治哲学の交差するところを研究対象とする。関心分野はコンセンサスの倫理、国際的な人権問題、アセアン共同体など。International Alert や欧州委員会等、東南アジアやヨーロッパの国際機関で勤務。2012年、ASEAN人権宣言の作成にフィリピン代表として参加。アテネオ大学学士、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)修士、リーズ大学博士。2018年、フルブライト奨学金によりアメリカン大学の School of International Service (SIS)に留学。現在、フィリピン大学と中興大学のフェロー。東南アジアの問題を検討する会議の議長を務める。近著 *Consensus: The Intangible Heritage of Southeast Asian Diplomacy*, and is now working on a monograph: *The Possibility of A Global Life? An Inquiry into Peoples, Borders, and Original Encounters*.

パネリスト：



徐 遵慈 Kristy Tsun Tzu Hsu

中華経済研究院台湾東南アジア国家協会研究センター主任

台湾・東吳大学法律研究所修士

現職は中華経済研究院台湾東南アジア国家協会研究センター主任、台湾アジア交流基金会兼任研究員、財団法人対外関係協会顧問、ベトナム・台湾商会連合総会顧問、台北市政府「国際事務委員会」委員等。専門分野は国際組織、国際経貿法、経済一体化、紛争解決、ジェンダー論等。近年の著作：「COVID-19 對全球經濟與國際援助之影響與對我國之啟示」《國際開發援助現場季刊》第2期、「區域全面經濟夥伴協定（RCEP）最新談判動向及未來發展」《經濟前瞻》等。

第3部 AFC 優秀論文、台湾特別優秀論文賞授与式及び論文発表

■ AFC 優秀論文（20 篇）リスト

<http://www.aisf.or.jp/AFC/2021/files/2021/06/AFC6A-Best-Paper.pdf>

■ 台湾特別優秀論文（5 篇）リスト

<http://www.aisf.or.jp/AFC/2021/files/2021/06/AFC6A-Taiwan-Best-Paper.pdf>

セッション情報は下記リンクから閲覧できます。AFC オンラインシステムに登録が必要です。

<https://www.conftool.pro/afc2021/sessions.php>

アジア未来会議への登録は下記リンクよりお願いします。

<http://www.aisf.or.jp/AFC/2021/registration/>